

8月号

いっしん

平成27年(2015年)

第367号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653

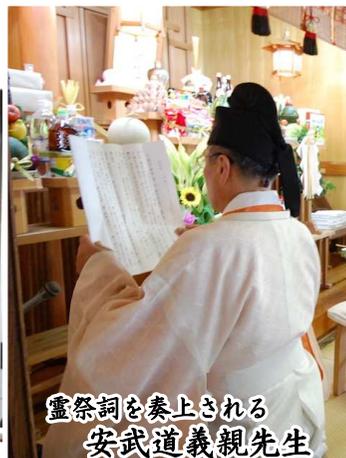
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

喜びは
人の心の真なり
日々を喜び
礼びてぞゆけ
甘木親教会
初代親先生み致

小倉教会 布教130年記念大祭

10月20日(火)

甘木親教会 二代教会長 安武文雄大人 20年祭 12月23日(祝)



加治木教会祈願に引き続き

矢野サダ子真心白萩 大刀自之霊神

三年祭仕えられる

いつの間にか梅雨明けした、南九州はお湿り豊かであった梅雨の終盤、七月十二日(日)加治木教会では、祈願祭に引き続き、矢野サダ子真心白萩大刀自之霊之神(前教会長夫人)の三年祭が仕えられました。

甘木親教会 安武道義親先生・親奥様をお迎えして、安武親先生ご祭主のもと、甘木親教会手続き教会の先生方のご参列・ご参拝をいただき親類をも迎えて、信奉者一同で麗しくご祭事を仕えさせていただきました。ご祭典前日の御用始めの御祈念では「親神様に、教祖様に、霊様に、ご安心いただくことができるよう『御用をする』ではなく『御用のおかげを蒙らせていただきます』という心がけをもって御用に当たらせていただきますよう」との教会長あいさつで始まり、御用に当たらせていただきました。

矢野サダ子大刀自 3年祭…P1~4
お知らせ…P9

大地金乃神御大祭ご教話…P5~8
行事予定…P10

祈願祭(加治木教会)に引き続き
矢野サダ子真心白萩大刀自三年祭

ご祭典

甘木親教会安武道義親先生ご祭主のもと、ご神前において祈願祭(五穀豊穰諸事繁盛祈願祭)に併せて三年祭の奏上祭が仕えられました。



引き続き、ご神前を一端退下された後、ご霊前において安武親先生ご祭主のもと、矢野サダ子真心白萩大刀自三年祭がお仕えになりました。ご祭詞では、矢野サダ子真心白萩大刀自(故サダ子親奥様)のご生前の御用を称え恩比べれるご内容が厳かに奏上され、ご祭主の玉



甘木親教会安武幸子親奥様

串奉奠に続いて、甘木親教会安武幸子親奥様により玉串が奉奠されました。

続いて、家族・親族、参拝教師、信徒総代、各会と玉串が奉奠されました。

ご祭典後、甘木親教会安武道義親先生のご教話を拝聴させていただきました。

「矢野サダ子先生というと、音楽が流れ出すと、自然と手足が動き踊りだされるような印象が残っております。今日は、矢野サダ子先生の三年祭に併せて祈願祭です。

祈願祭で甘木教会の初代は、お道の繁盛(お道大繁盛)、桂親先生のこと(恩師大繁盛)などをお願いしております。

お願いということについては、ある出社教会の先生が初代の元気な

頃に、記念祭の日に参拝しやすいよう雨が降らないようお天気のご都合をお願いされたそうです。すると、

『私はそういうお願いはしない、私ならばお湿りがあるうがなかつうがどうでもこうでもお参りさせていただきますという思いになるようお願いさせていただきます』

とみ教えされたということです。参拝される方が、雨が降ろうが風が吹こうがどうでもこうでもお参りさせていただきたいという思いになるようにということです。

私たちは、自分中心・人間目線ではなくお願いしてないところがありますが、初代は神様中心・神様目線でお願ひしていたように思います。」(ご教話、要旨・要点のみ) というご内容でご教話下さいました。



また、七月十七日(金)に、甘木親教会の祈願祭が仕えられ、加治木教会矢野サダ子真心白萩大刀自三年祭の御礼参拝に、加治木教会から三人でおかけを蒙らせていただきました。

祈願祭(加治木教会)に引き続きいて

矢野サダ子真心白萩大刀自三年祭

前後の御用

奥津城の草取り

(七月七日・十日)

式年祭を間近にひかえた、七月七日と、十日に、奥津城の草取りをさせていただきました。

入梅後、お湿りを頂いて奥津城の周りの草が伸びていましたので、信奉者の皆さんで呼びかけ合っての草取りとなりました。

根深いカヤなども取らせていただき、向かいにある手入れがされずに藪のように草が伸びた墓地も、草をはらわさせていただきました。

政美親先生、サダ子親奥様の霊様方はじめ、納骨されてある信奉者の霊様方も爽やかなお気持ちで式年祭をお迎えになられたことでしょう。

式年祭前日の十一日、御用始めの御祈念後、お湿りの雲間に、奥津城にて墓前祭に代わり御祈念を皆で仕えさせていただきます。



7月7日・10日

御用奉仕開始

(七月十日)

式年祭二日前の、十日の月例祭のご祭典後、御用予定分担表をもとに、打ち合わせや意見の提案・確認などをさせていただきます。

その後、二階の掃除や道具の準備などをさせていただきます。

若者により、お広前の小旗張りや玄関幕・下足箱も準備が進められました。



7月10日





客間の掃除と準備



玄関幕準備



←お手伝い？
一生懸命！→



調理の御用がてぎわよく
進められました



活け花が
きれいに
できあがりました

前日の御用奉仕
(七月十一日)

前日には、お直会のちらし寿司のお弁当の下ごしらえをさせて頂いた。甘木親教会親先生のお部屋の準備、先生方・親族のお直会席となる二階ホールの清掃、活け花の準備などがなされました。

バンド隊追悼演奏

お直会時に、少年少女会・青年会員の信心の成長をいつもお祈り下さってあった、故サタ子親奥様の追悼の演奏をさせて頂きました。
練習を重ねてきた曲は「甘木布教讃歌」と「さんぽ」でした。



バンド隊による追悼演奏

加治木教会

天地金乃神御大祭ご教話 平成二十七年

「ここまでのお礼」と

「ここからの願い」

② …… ①～⑥

講師 大口教会長 安武秀信先生

そして、お礼を申し上げることに
よって、私たちの心が神様につながっ
ていくのです。

つながるから、おかげが生まれるの
です。甘木の初代がそうです。

明治二十四年の旧暦二月、新暦でい
うと三月、二十歳のときに小倉教会に
初めてお参りなされ、五里の道を歩い
てですから、恐らく立小便もされ痰唾
も吐かれたでしょうが、何とも思われ
なかったでしょう。



大口教会長 安武秀信先生

ところが、お参りをされて話を聴い
てみると、天恩地恩、大地はこの世の
母であると教えられ、神様のお鎮まり
なされる大地であるということでは
っくりなされたわけです。

それで、五里の道を歩いて帰る道す
がら、天地がまったく変わってしまっ
たわけです。

ありがたいとも、もったいないとも
お母さんの背中を歩くような思いと
話してあります。

私もはそんな思いで歩いてはい
ません。

お母さん・神様の背中を歩くような
思いと書いてあります、それほどあり
がたくあられたわけです。

帰る道半ば、たちまちにして腹痛を
起こされ、帰り着いたら下痢が始まる、
次の日から鼻血が出、最初は罰が当た
ったかと思われるのですが、それから
二十日の間に慢性病が二つ全快する
のです。

肉体が天地につながっていること
は誰も否定はできません。空気も吸い
ますし、水も頂きますし、お米や食物
一切を頂きます。

これは天地のお恵みですから、天地

の働きと肉体との関係を否定するこ
とはできないのです。天地とこの肉体
とがつながっています。天地のお働き
なくしては生きていけないのです。
けれども、心がつながっていないで
しよう、それは何故なのか、恩を知ら
ないからです。

恩を知るとつながるのです。

親子でもそうです。親は一生懸命子
どものことを朝も昼も暮もないうちに
て面倒を見るのですが、子どもは大き
くなると、自分で大きくなったくらい
にしか思っていないことがある。

親はどれほどの苦労をもって日々
思いもして祈りもして、心もかけ、お
金もかけたか、そういうことは一切知
らないけれども、そこに目覚めて「お
父さんお母さん、ありがとうございま
す」と言ったときに親子が成立するわ
けです。

親は子供に対して、いつも片思いで
す。

子どもは、大きくなったら「サヨナ
ラ」と言って、皆が皆ではないですが
離れていく人が多く、親につながらな
いのです。

神様と私たちも一緒です。恩を知っ

た生き方になったときに神様につながるのです。

そのように、見えないパイプで神様につながるから、そのパイプから神様のエネルギー、徳が流れてくるから、このように慢性病二つ全快というようになことが生まれてくるのです。

神様のお徳が流れてくる、どれだけ大きなパイプを神様につながるかです。そのパイプのつなぎ方は「ありがたい」の一点にかかっておるのです。

考えますに、甘木の初代が、小倉倉会にお参りなさって、天地の恵みに目覚めなされたことが、これが信心の大きな土台です。

信心する者もしない者も皆いただいているおかげで、甘木の初代はここに目覚められたのです。

これまで知らなかった（それが神様のお恵みですか）と初めて気付かれた図に描けばこれが一番目の大きな土台です。

その上にもうひとつ二つ目の土台があって、ここでは取次助けられた慢性病全快、即ち取次助けられるおかげの世界が一番目の土台の上に載せられるのです。

一番目の大きな土台の上にもうひとつ取次助けられるという、二つ目のおかけの世界、このふたつをどれだけ深く悟れるかが、ここまでのお礼の内容なのです。

甘木の初代は小倉にお参りをして、一番目の大きな土台に目覚められ、これを日々深められていかれた。

さらに、その二つ目の土台の上に載せられた取次の働きをもって頂いたおかげの世界も日々深めていかれた。ですから、甘木の初代のお話しはいつも同じだったといえます。

「昨日の安武と今日の安武は違う」という有名なお話しがあります。同じ話ではあるけれども深めておられる。大きな土台である「天地のお恵み」ということをひとまず書いて、その上に載せられた「取次ぎ助かる」というおかけの世界、これにどれだけお互いが目覚めているか、私を例にしたお話しをひとつ聞いていただきたいと思えます。

☆

私は、一昨年、平成二十五年七月十六日に、大腸ポリープを切除しました。平成二十五年の春の検診の検便で、



潜血反応が出ました。

まだこの頃はご本部の教庁で御用しているときです。それで、内視鏡検査をしましたら、ポリープが発見

されたのです。

それを七月十六日に摘出したのですが、私のポリープは五十五ミリ×（かけ）四十二ミリでかなり大きいポリープだったのです。

しかも、キノコのように出ているポリープは切りやすいのですが、濡れ落ち葉のようにへばり付いているので切り難いということでした。平坦型というポリープなのです。

普通三十分くらいで済む手術が、二時間二十分かかっていました。

術後の書類を見ますと、このように書いてあります。

「大腸腫瘍、治療困難、ESD完遂、一括切除」と、「ESD」とは、難しい言い方ですが「内視鏡的粘膜下層剥

離術」ということです。

大腸の壁の一番上が粘膜層で、下の層が粘膜下層といい、その下に血管などがあろうです。

私は、腸の壁に入ばり付いて切りにくいので、すべ下の層に塩水のような薬液を入れて、浮かび上がらせておいて粘膜下層から切って剥ぎ取るのだそうです。

このESD手術は、胃がんや食道癌治療にも使われるのですが、それに比べて大腸は形状が複雑でしわがたくさんあり、しかも壁が薄く二ミリで破れやすく、また、破れると大変なことになる、そのため、破れないように気をつけなければならぬそうです。

私の場合は、上行結腸から横行結腸の曲がり角のところでできておりそのため発見しにくかったそうです。それをよく見つけていただいたものだと有り難く思っています。

曲がったところにあるのですから、素人考えでも非常に手術がしにくいのだと思います。

平成二十四年の三月までは、三十三以上のポリープは開腹手術だったそうです。

それが、平成二十四年の四月から、内視鏡で手術をしてよいようになったそうです。时期的にもおかげ頂いたと思います。

ただ、このESD手術ができるのは、大病院や、技術や設備を持った病院しかできず、それだけむずかしい手術ということだったそうです。

それで私は、七月十六日にポリープの摘出手術を受けて、それから三日間は、食事をしてはならず断食でした。

六人部屋に一週間入っておりまして、本を読んだりもしますが暇でした。

ベッドに二つずつテレビも付いておりまして、イヤホンを付けてテレビを見ることもできました。

断食の間、「純露」のような、混ぜる気のない飴ならば食べてもよく、ま



た、お茶もよいということですから、売店から飴を一袋買ってきて、飴をほらばり、お茶を飲み飲み辛抱していました。

断食をしていた三日間、テレビの「マーシャルを見ていますと、食べ物」の「マーシャルが多い」ことに初めて気づきました。

ほんとに美味しそうで、いい修行になりました。つくづくと食べられることのありがたさを思いました。

十九日が重湯で、まったく粒々がなく目玉が写るような重湯でした。二十日が五部粥、二十一日が全粥、二十二日に診察を受けて退院しました。

退院してからも長風呂をしてはいけません。これは血の巡りが良くなって内出血をするそうです。また、運動がいけない、階段や、長く歩くことも刺激を与えるとは血するということなのです。当然、お酒も、「コーヒ」もいけないなど、いろんな注意がありました。

退院いたしましたして、甘木の親教会にお参り致しまして、そのまま御本部の方に帰らせていただきました。

(つひ)

鹿児島地方布教百二十年記念
信奉者研修会
 鹿児島教会にて
 七月五日(日)

鹿児島地方教会連合会では、今年「鹿児島地方布教百二十年」のお年柄をお迎えするにあたり、ご神願が成就し、「神人あいよかけよの生活運動」がいっそう展開され、未来に向けて教会布教の活性化が実現されることを願って「鹿児島地方布教百二十年記念 信奉者研修会」が鹿児島教会で開かれました。

このたび、鹿児島地方教会連合会では、この二十年間に（鹿児島地方布教百年から今日まで）鹿児島地方において、お道の御用に生涯を捧げ布教にご尽力下された、ご霊神様方が鹿児島地方教会連合会の「霊神名簿」に加筆され整えられました。

「鹿児島地方布教百二十年記念 信奉者研修会」の開会式で、連合会長 馬渡三郎先生がご霊前において、連合会の「霊神簿」のすべてのご霊神名を読み上げられ、「鹿児島地方布教百二十年祈願詞」を参加者一同で

奉唱し、ご霊神様方のご功績とみ働きをお称えし御礼申し上げました。



連合会長 馬渡三郎師(志布志教会)



宮内政雄師(上荒田教会長)

開会式後、上荒田教会長 宮内政雄先生から「先人の遺徳に生かされて」という講題で講話を聴かせていただきました。

午後からは「真心(しんじん)発表」が行われ、木脇明子さん(鹿児島教会)、崎向義照さん(枕崎教会)、森田禮子さん(大口教会)がそれぞれ二十分ほど、ご自身のご信心の今日までの歩みと未来に向けての抱負などをお話し下さいました。

その後、三名の「真心発表」をもとに全体懇談が行われ、和やかに時間一杯まで質疑応答がなされました。



崎向義照氏(枕崎教会)



木脇明子氏(鹿児島教会)



森田禮子氏(大口教会)

※講話と、真心発表はCDにする予定です。信心の勉強をさせていただきます。

八月八日(土)〜十日(月)

少年少女全国大会 参拝

出発 8日午前八時 帰着 10日午後七時半頃
旅費 大人 2,000円 中学生 1,800円
小人 1,500円 幼児 700円

九月五日(土)〜六日(日)

十四時より 十一時まで

九月五日 午前九時 出発

甘木親教会

信徒研修の集い

八月二十三日(日) 午前十時〜午後三時半

鹿児島地方教会連合会 申込締切八月十四日

女性のつどい

講師：桑原栄美子先生(都城教会)

場所：勤労者交流センター(ダイエーF)

※昼食は各自持参か、申込み 四五〇円。

九月二十六日(土)〜二十七日(日)

十四時より 十二時半まで

南九州教区合同開催

青年ふれあいフォーラム

場所 仙寿の里温泉

信心発表 竹之下康秀氏(鹿児島教会)

田中朋子師(熊本県三角教会)

※森林浴ハイクあり(往復2キロ)：二十七

教会行事

8月

1 (土) ●報徳月例祭 10時半

(月例祭後、折鶴つなぎ)

少年少女全国大会
「まごころ運動」の折鶴

2 (日) ●夏のつどい (鹿児島市 健康の森公園)

8 (土) 少年少女全国大会 出発

9 (日) 少年少女全国大会 当日

10 (月) 少年少女全国大会 帰着

11 (火) 斎掃御用 10時

12 (水) ●月例祭 (生神金光 併せて 大神様 霊祭 10時半)

19 (水) 20 (木) 星原家霊祭

甘木親教会 婦人教師会

21 (金) 斎掃御用 10時

22 (土) ●月例祭・共励会 13時半

23 (日) 全女性集い (勤労者交流センター 十時〜十五時)

30 (日) 典楽講習会 (南九州支部 日田教会にて)

31 (月) 斎掃御用 10時

9月

1 (火) ●報徳月例祭 10時半

5 (土) 6 (日) 甘木親教会信徒研修の集い

9 (水) 斎掃御用 10時

10 (木) ●生神金光 月例祭 10時半

21 (祝) 斎掃御用 10時

22 (休) ●月例祭・共励会 13時半

23 (祝) ●秋季霊祭 10時半

26 (土) 27 (日) 青年ふれあいフォーラム (4県教区 合同開催)

30 (水) 斎掃御用 10時

十月三日(土)〜四日(日)

御本部生神金光大神御大祭 参拝

大型貸切バスにて参拝の予定、旅費約二万円弱(宿泊費込み)

加治木教会 バンド練習会

毎週金曜 午後7時半より

今年も練習会に参加してお役に
立たせていただきましょう。

8/2 (日) 連合会主催
10:30~ 夏のつどい
鹿児島市 健康の森公園にて!

みんなであそび
さんかじょう
ついせきハイク
したあそび
プールで楽しもう
すいどう・おべんどう
水着・水泳帽
わすれないでね